



クラウド活用 チャット編

授業でチャットを使っているみなさんの声

いつでも、どこでも、だれとでも
対話できるのがいいですね。



共有したい情報を、思った時にすぐ
共有できるのがよさだと感じています。



チャットであれば、手軽に、
短文で情報共有ができます。



文字だけでなく、スタンプでも
反応を返せるのがいいですね。



情報はクラウドに残るので、
授業後にも確認しています。



●手軽に、すぐに、情報を共有できる

→離れていても大丈夫、読んだ人はリアクションボタンで即レスできる

●URLを共有できる

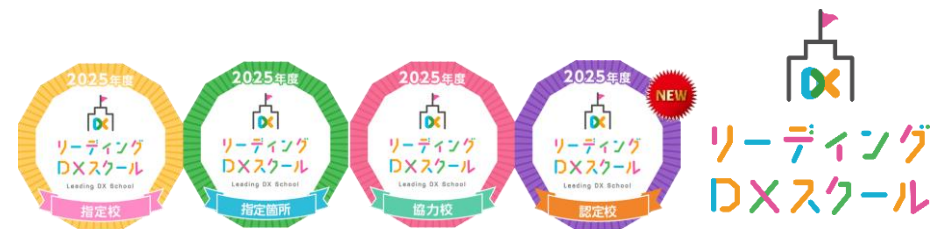
→見つけた資料を共有できるので学びが広がりやすい

●自分のペースで読んだり発信したりできる

→児童生徒にとって各自の学びのペースに合わせやすい

●クラウドに記録が残る

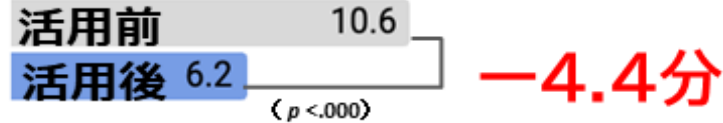
→ログを遡って参照することができる



デジタルによる授業運営の効率化（導入を中心に）

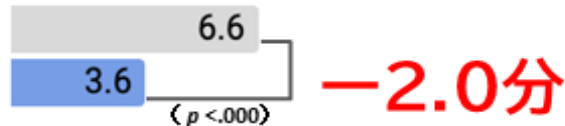
学習の見通し

（数時に1度程度）



課題の提示

（ほぼ毎時）



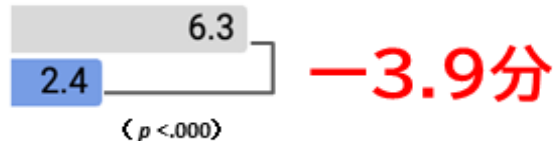
ワークシート、 プリント配布

（数時に1度程度）



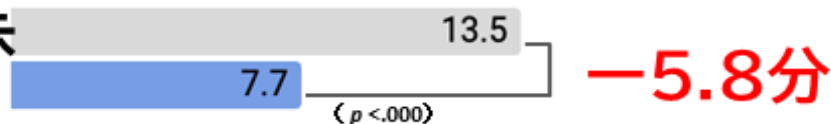
資料の提示

（ほぼ毎時）



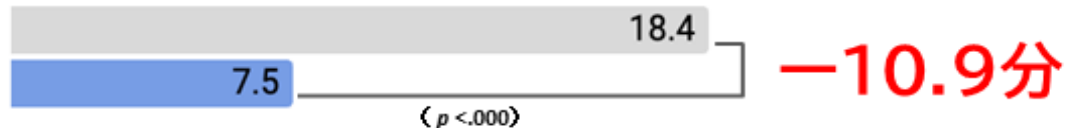
教具の扱いの指示

（数時に1度程度）



板書

（ほぼ毎時）



調べさせる、 問題を解く

（ほぼ毎時）



※調査対象：全国の公立・私立の小学校・中学校に在籍する教師（回答数375人・有効回答数340人）

※調査方法：Webフォームによる。フェイス項目5項目、①授業の準備等：9項目の質問に対して、デジタル活用前・デジタル活用以後を問う計18項目、②授業の運営：14項目の質問に対して、デジタル活用前・デジタル活用以後を問う計28項目

※調査期間：2025年3月4日から3月9日までの5日間

※各質問項目について、当該活動1回あたりの所要時間（分）を調査し、平均値を算出。デジタル活用前後の平均時間から差を算出。（p値はウィルコクソンの符号順位検定）

※青字は各活動の概ねの発生頻度（1人1台の端末活用歴4年～5年の教員3人で議論し合意したもの）

※西本壇、伊藤真紀、杉本啓馬、佐藤和紀、堀田龍也（2025）小・中学校における授業の準備や運営等をデジタル環境で行うことによる時間短縮の程度に関する調査。日本教育工学会研究報告集、2025（1）：発表

- 今日の学習のキーワードは？
- どんな秋を見つけましたか？

チャットの活用に慣れてきたら

【取組内容⑤】 Googleチャットを活用した修学旅行（班別学習）

①修学旅行の**班別学習時に連絡手段としてチャットを利用した。**
※昨年度までは、携帯電話を使い、緊急時の連絡手段として使用していた。

一人一台端末のChromebookを使うことで、事前に作成した行動表（スプレッドシート）や行動経路計画（Googleマップ）と併用し、チェックポイントに着いた際の連絡や**道に迷った時**にどの場所なのかを瞬時に確認し、連絡を取ることができた。

に間

11月15日, 12:14



さんたちと合流しました。一緒に向かいます。

11月15日, 12:17



高德院に今、今2組1・2・4班が到着しています。

11月15日, 12:24



いま江ノ電乗っています。

11月15日, 12:25



遅れるかも知れません。今、山道を歩いています。

児童連絡用

チャットの活用に慣れてきたら

生徒会でのクラウド活用 ②生徒会役員の連絡

これまで



現在



チャット



- ・役員が必要に応じて会議を開催することが可能になった。
- ・端末を持ち帰ることで、チャット上で協議が可能になった。
→生徒会の会議で部活動を欠席することが減った。
- ・便利なことを理解しているから、毎日の連絡を生徒自らチェックするようになった。

チャットを活用していくために



活用を始めたころは、よくトラブルがありました。



校内の先生方に、このように伝えていきます。

GIGA端末はログが残るので、

- 1 学校でトラブルが起きることをネガティブに思わず、指導の機会が得られると捉える**
- 2 失敗しながら学ぶことが許される学校、生活だけでなく情報モラルも同じ**
- 3 学校で指導するから学校外のトラブルを減らしていける、という感覚が必要**

リーディングDXスクール事業ポータルサイト



“リーディングDXスクール”は、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための事業です。

全国の小中高等学校、約200校の取組等は、各学校のWebサイトからご覧いただくことができますので、地域や校種を超えて様々な取組を参考にし、学校での端末の「普段使い」による教育活動の更なる推進にお役立ててください。

また本サイトでは、本事業指定校以外の学校の先生方も参加できる学習会等のお知らせも随時行います。ぜひ積極的にご活用ください！



リーディング
DXスクール事業に
ついて



リーディング
DXスクール一覧



生成AI
パイロット校一覧



公開授業・
公開学習会予定



取組紹介



指定校実践事例・
動画



GIGAスクールに
関する通知



特集ページ

スタディーエックス スタイル

StuDX Style

デジタル学習基盤で加速する深い学び



ブチ学習会はこちら

お困り相談はこちら

研修支援はこちら

新着情報

○新着情報○

- 2025.5.23 > (特集) プロジェクトH～新たな学びのスタート
- 2025.5.20 > (特集) すべての生徒が学びを深める授業
- 2025.5.16 > (特集) GIGAスクール構想×探究学習②
- 2025.5.7 > (特集) 広く理念を共有し、創造的に実践
新潟市立大野小学校)
- 2025.4.25 > (特集) 校務DXを推進する自治体の取組
(東京都渋谷区教育委員会・渋谷区立千駄ヶ谷小学校)

小学校

国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語活動 外国語
特別の教科 道徳	総合的な 学習の時間	特別活動							

中学校

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	特別の教科 道徳
総合的な 学習の時間	特別活動								

高等学校

国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報
----	------	----	----	----	------	----	-----	----	----

「GIGA×深い学び」(全校種・全教科等)
デジタル学習基盤で「深い学び」が
実現する学習指導の例